

報道関係者各位

2008年6月17日

文化庁メディア芸術祭協賛事業

第14回 学生CGコンテスト作品募集

応募期間 - 7月3日~9月19日 受賞が活躍のきっかけに！

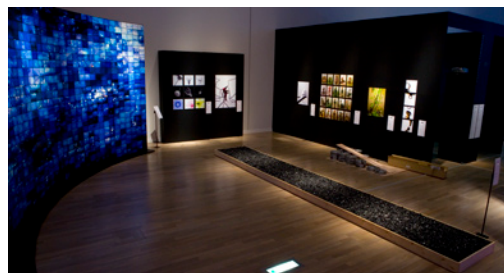
CG-ARTS協会（東京都／理事長：永田圭司）は、「第14回学生CGコンテスト」の作品募集を7月3日から開始します。

学生CGコンテストは、次代を担う若い才能を発掘し、その才能を広く紹介することを目的として1995年から毎年開催。応募作品は千点を超え、国立新美術館で開催した受賞作品展への来場者数は4万人を超えるなど、若い才能が集まるコンテストとして注目を集めています。

受賞者も目覚ましい活躍をされており、藤木 淳さんは受賞がきっかけとなってゲーム『無限回廊』が発売されました。林 俊作さん（当時中学3年生）は世界最大のCGの学会シーグラフへ最年少で招聘されました。pecoraped（ペコラペッド：西尾 都さん、杉殿育恵さん）は世界4大アニメーション映画祭であるアヌシー国際アニメーション映画祭とザグレブ国際アニメーション映画祭の2つで入選を果たすなど、多くの方が学生CGコンテストの受賞をきっかけに世界レベルで活躍されています。

募集は、静止画、動画、インタラクティブの3部門。グラフィックスや写真、映像、アニメーション、インタラクティブアート、Web、ゲームなど、幅広いジャンルのデジタル作品を対象としています。本年より全部門においてインスタレーション（空間展示）による作品も対象としています。

応募期間は7月3日から9月19日まで。受賞作品展は来年2月に文化庁メディア芸術祭の協賛事業として国立新美術館で同時開催します。



昨年度表彰式・受賞作品展の様子（左） 第14回学生CGコンテストポスター（右）

※作品募集のポスター画像は右記ウェブサイトからダウンロードが可能です。〈プレス専用 www.cgarts.or.jp/outline/press/2008/080617.html/〉

この件に関する問合せ先

[報道関係] 広報 篠原、千葉

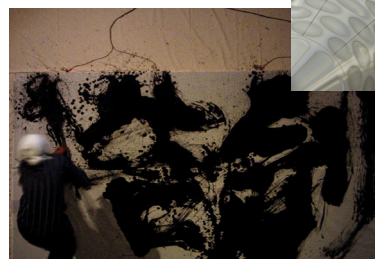
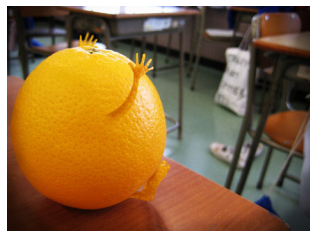
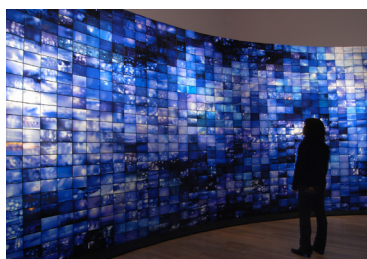
[一般] 学生CGコンテスト事務局 <www.cgarts.or.jp/contact/>

[TEL] 03-3535-3501 [FAX] 03-3562-4840 [URL] www.cgarts.or.jp/scg/

募集概要

- 名称 第14回 学生CGコンテスト
- 主催 CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）
- 応募部門
- 静止画部門
デジタル技術を使って制作されたグラフィック作品や写真（組作品可）
 - 動画部門
コンピューターで制作、または実写をデジタル加工・編集した映像作品やアニメーション作品
 - インタラクティブ部門
デジタル技術を使って制作された対話性のある作品（web、ゲームなども含む）
- 審査委員会
（敬称略・50音順）
- 原田大三郎（審査委員長・多摩美術大学教授）
内田まほろ（キュレーター）
クワクポリョウタ（メディア・アーティスト）
小阪 淳（アーティスト）
児玉幸子（電気通信大学准教授）
小林昭世（武蔵野美術大学教授）
豊嶋勇作（デジタル・フロンティアプロデューサー）
中谷日出（NHK 解説委員）
畠山直哉（写真家）
- 応募期間 2008年7月3日（木）～9月19日（金）必着 応募料無料
- 応募資格 学生であること。社会人学生や2008年3月に卒業された方の卒業制作作品なども対象となります。
- 応募方法 Webより登録後、作品送付。< www.cgarts.or.jp/scg/ >
- 審査基準 アート・デザイン・エンターテインメント・工業分野など、ジャンルは不問。制作過程の論理性・技術力・審美性・オリジナリティなどから、いかに新しい表現を追求しているかを評価します。
- 各賞 各部門ごとに最優秀賞・優秀賞・佳作・U-18(アンダーエイティーン)賞を決定します。
賞品：デジタルビデオカメラ、デジタルカメラ、プリンター等を予定。
提供：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
* U-18賞は18才以下(2009年4月1日時点)が対象となります。
- 発表と作品展示 [発表] 2008年11月下旬 学生CGコンテスト Web サイトにて発表（予定）
[受賞作品展] 2009年2月4日（水）～2月15日（日） 国立新美術館（港区・六本木）
※受賞作品展は、文化庁メディア芸術祭の協賛事業として同時開催します。また、受賞作品は文化庁メディア芸術祭受賞作品集に掲載する予定です。

グラフィックスや写真、映像、アニメーション、インタラクティブアート、Web、ゲーム、シミュレーションなど幅広く募集します



受賞者の活躍

(敬称略)



米カルフォルニアに招聘！ 林 俊作

第10回 U-18 賞

毎年夏にアメリカで開催されるCGとインタラクティブ技術に関する国際的な祭典SIGGRAPH。アートギャラリーの主査に受賞者を紹介したことがきっかけで林さんの作品が同展に招聘出品されました。会場では林さんがライブで描画する場面も。

プロフィール

1992年大阪生まれ。大阪府立高校1年在学中。2006年大阪と東京で個展を開催し反響を得る。受賞歴は、2005年にCG-ARTS協会第10回学生CGコンテスト U-18賞、EPSON Color Imaging Contest2005で準グランプリ、第10回文化庁メディア芸術祭奨励賞など多数。



作品がPS3・PSPのゲームになった！『無限回廊』 藤木 淳

第7回インタラクティブ部門 最優秀賞

藤木さんは、学生CGコンテスト受賞後に『OLE Coordinate System』という作品で第10回文化庁メディア芸術祭優秀賞を受賞。この作品を基にしたゲーム『無限回廊』が3月に発売されました。ソニー・コンピュータエンタテインメントのプロデューサーが受賞作品展でこの作品を知ったことが、きっかけになっています。

プロフィール

1978年2月3日生まれ。3次元CGソフトウェア、テレビ局放送システムの開発業務勤務、九州大学大学院芸術工学府博士課程を経て、現在は日本学術振興会特別研究員(PD)。人間の心を豊かにするインタフェース・インタラクションとして「実世界ではあり得ないことが、人間の内面ではあり得る表現」をテーマとする。第7回学生CGコンテストインタラクティブ部門最優秀賞をはじめ、第9回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門奨励賞受賞、第10回文化庁メディア芸術祭アート部門優秀賞など多数受賞。



ヨーロッパでも注目の作品 西尾 都・杉殿育恵

第13回動画部門 最優秀賞

昨年の動画部門で最優秀賞を受賞した『迷走赤ずきん』が、アヌシー国際アニメーションフェスティバル(フランス)やザグレブ国際アニメーションフェスティバル(クロアチア)など海外のフェスティバルでも注目を浴びています。



プロフィール

杉殿育恵、西尾 都からなるユニット。2人の世界をどんどん膨らませて外の世界に送りだすのが使命。第13回学生CGコンテスト動画部門最優秀賞をはじめ、2007年にはANIMANIMA(セルビア)入選、2008年にはアヌシー国際アニメーションフェスティバル入選、ザグレブ国際アニメーションフェスティバル入選。「it's ONORE 展」(東京・CASPER'S Gallery)での展示や、NHK番組「星新一 ショートショート」にてアニメーション制作なども手がけている。

CG-ARTS 協会（財団法人 画像情報教育振興協会）について

CG-ARTS 協会は 1992 年に設立した文部科学省認可の財団で、主に CG 分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。

口会員企業

＜理事会員＞株式会社 NTT データ／キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社／株式会社電通／日本 SGI 株式会社／日本電気株式会社／株式会社博報堂

＜会員＞株式会社インフォバーン／株式会社インプレスジャパン／株式会社ウチダ人材開発センタ／オートデスク株式会社／株式会社大林組／キヤノン IT ソリューションズ株式会社／キヤノンシステムアンドサポート株式会社／キヤノンソフトウェア株式会社／キヤノンネットワークコミュニケーションズ株式会社／株式会社クリエイティブ・コミュニティサービス／株式会社クリエイティブ・21／コムズ株式会社／株式会社資生堂／ジャパン・デジタル・コンテンツ信託株式会社／株式会社シュガーカンパニー／新日鉄ソリューションズ株式会社／ソフトバンク クリエイティブ株式会社／株式会社ソフト流通センター／大日本印刷株式会社／株式会社丹青社／株式会社テレビ朝日／株式会社テレビ東京／株式会社電通テック／株式会社東京放送／凸版印刷株式会社／株式会社日経 BP／株式会社日交／日興美術株式会社／日本テレビ放送網株式会社／株式会社ビーエス朝日／株式会社フジテレビジョン／株式会社プレシース／株式会社プレミアムエージェンシー／株式会社プロネット／株式会社メンバース／株式会社ライトパブリシティ／株式会社レイ (50音順 2008年6月現在)